



カキモト アキヒト
柿本 昭人

Akihito KAKIMOTO

講演

研修

コメンテーター

所属・職名

政策学部政策学科／総合政策科学研究科 教授

研究分野

身体論、モダニズム／モダニティ論

研究活動

具体的な事象を題材に、その事象が出現するに至る諸力の重なり合いを腑分けしながら身体をモダニズム／モダニティにおける構造的な問題として議論する土俵を整備すること。これまでの研究でその対象としてきたのは、流行病、社会は実在なのか関係なのか、科学における「科学」性、強制収容所における労働、価値づけられる生命、認知症における責任能力、誰が大人なのかを巡る議論の紛糾等である。

主要な業績

(著作・論文・研究発表)

『健康と病のエピステーメー』ミネルヴァ書房、1991年。
 『社会の実存と存在』(嶋守さやかと共著)社会思想社、1998年。
 『アウシュヴィッツの〈回教徒〉』春秋社、2005年。
 『〈老い〉の不在がもたらす軋み』『同志社政策研究』第2号(2008年)
 『運転免許のレヴィアタン——認知症と交通事故』『同志社政策研究』第4号(2010年)
 『大人／子供——古代ギリシアからの眺め』『同志社政策研究』第5号(2011年)
 『新幹線を取り巻く安全神話——安全と神話』『同志社政策科学研究』第16巻第1号(2014年)

社会活動・その他

所属学会

社会思想史学会、社会学会

キーワード

身体、流行病、認知症、安全